

下記は、4月17日(アメリカ時間)に発表されたプレスリリースの翻訳です。

**シティ、2009年第1四半期の決算を発表  
収益は248億ドル、純利益は16億ドル、一株当たり損失は0.18ドル**

**特定の優先株式の転換価格の見直しによる0.24ドルの影響を除外すると一株当たり利益はポジティブ**

**純利益はインスティテューショナル・クライアント・グループの業績の改善と費用削減の継続が主因**

2009年4月17日ニューヨーク発：シティグループ・インク(NYSE:C)は本日、2009年第1四半期の決算は純利益16億ドル、発行済株式数5,385百万株の一株当たり損失0.18ドルと発表しました。248億ドルの収益は、正味評価損により一部が相殺されましたが、インスティテューショナル・クライアント・グループの良好な業績によるものです。また業績には、73億ドルの正味貸倒損失及び27億ドルの貸倒引当金の繰入費用(純額)が含まれています。

一株当たり損失0.18ドルは、2008年1月に私募によって発行された125億ドルの優先転換株式の転換価格について2009年1月に行われた見直しを反映しています。これは純利益に影響しませんでした。普通株主帰属利益を13億ドル(一株当たり0.24ドル)減少させました。この減少がなければ、一株当たり利益はポジティブでした。また、一株当たり損失は、純利益には影響しなかったものの普通株主帰属利益を13億ドル減少させた優先株式配当を反映しています。

#### 主要な事項

- ・ 総収入は、2008年第1四半期に比べ99%上昇して248億ドルで、全ての地域において前四半期に続き改善。
- ・ 3.30%の利ざや(正味利息マージン)は、2008年第1四半期に比べ50ベース・ポイント、同年第4四半期に比べ8ベース・ポイント上昇。
- ・ 営業費用は、2008年第1四半期以降37億ドル(23%)減少。
- ・ 人員を、2008年第4四半期以降約13,000名削減、ピーク時のレベルから約65,000名削減し、309,000名に。
- ・ Tier 1資本比率は、2008年第1四半期の7.7%に対し約11.8%。
- ・ 預金ベースは、困難な環境にかかわらず2008年第4四半期に比べ相対的に安定的で7,630億ドル。預金は、ドイツのリテールバンキング部門の売却と外国為替の影響により、2008年第1四半期以降8%減少。米国の預金は、前四半期に比べ80億ドル増加し、前年度に比べ280億ドル増加。
- ・ 残存していたレデカードのポジションの売却完了により税引後利益704百万ドルを計上。

#### 経営陣のコメント

「本四半期のシティの業績は、シティの事業基盤の強固さを反映しており、シティはその成果を喜ばしく思います。250億ドル近い収益と16億ドルの純利益をあげ、全体として2007年第2四半期以降で最高の四半期となりました。」とシティの最高経営責任者、ピクラム・パンディットは述べています。

「本四半期に得られた明確なメッセージは、シティの顧客はシティと取引を続けているということです。シティはグローバルな金融サービスにおいて特有な事業基盤を有しています。シティは世界中で誰よりも多くの地域でより多くのサービスを提供しており、シティの顧客は長い間これを認識しています。過去一年間にシティが直面した様々な困難にもかかわらず、シティの顧客は引き続きシティと緊密に取引を行っております。」

「シティの事業基盤は強固ですが、シティはそれを更にいっそう強固にするための手段を講じてきています。シティはリスクを軽減させ、シティに多くの損失をもたらしてきた問題のある非中核・不採算資産等(レガシー・アセット)を劇的に減少させました。シティは費用及び人員を有意義に削減し効率性を改善しました。また、シティは資本基盤を強化しました。」

「さらに、シティは米国の顧客に対して多額の与信の提供を継続し、米国の住宅市場の支援に注力し続けました。2008年10月以降、シティは借主と総額約135億ドルにのぼる抵当貸付について担保実行の可能性を回避するための作業を成功裡に行い、住宅についてシティが抵当貸付を行っている不良債権の借主の9割以上を維持することができました。また2008年10月以降、シティの米国カード事業は820,000名を超える顧客に対し、様々な支払猶予プログラムを通じてクレジットカード債務の管理を支援するための作業を行いました。」

「シティ及び金融業界は脆弱な経済の中で業務を行うことから今後の四半期においても困難に直面するでしょうが、シティはその事業基盤を強固にすることに引き続き注力していきます。シティは、引き続き、非中核・不採算資産等によるリスクを減少させ、積極的に費用の管理を行い、効率性を向上させていきます。最も重要なのは、シティの顧客に、今日の金融サービス

において最も有能なチームであると私が信じている人々との取引を続けていただくことです。」

「最後に、私は、シティの成功の基盤である世界中のシティの全ての従業員に対し個人的に感謝したいと思います。シティの顧客に対する従業員の継続的な不断的な努力が、その献身度を表しています。過去一年間の様々な困難にもかかわらず、私はシティが金融サービスにおける最も強固な事業基盤のひとつとして金融危機から抜け出すであろうという信念を持ち続けています。」とパンディットは述べています。

## シティの業績

| 単位:百万ドル(一株当たり利益を除く)      | 第1四半期収益         |                 |            | 第1四半期純利益       |                  |           |
|--------------------------|-----------------|-----------------|------------|----------------|------------------|-----------|
|                          | 2009            | 2008            | %<br>増減    | 2009           | 2008             | %<br>増減   |
| グローバル・カード部門              | \$5,765         | \$6,379         | (10)%      | \$417          | \$1,226          | (66)%     |
| <i>グローバル・カード(管理対象)</i>   | <i>8,217</i>    | <i>7,989</i>    | <i>3%</i>  |                |                  |           |
| 個人向け銀行業務部門               | 6,402           | 7,791           | (18)       | (1,226)        | 52               | NM        |
| インスティテューショナル・クライアント・グループ | 9,507           | (4,958)         | NM         | 2,833          | (6,357)          | NM        |
| グローバル・ウェルス・マネジメント部門      | 2,619           | 3,279           | (20)       | 261            | 294              | (11)      |
| 本社事項、本社業務/その他            | 496             | (50)            | NM         | (675)          | (462)            | (46)      |
| <b>継続事業からのシティ合計</b>      | <b>\$24,789</b> | <b>\$12,441</b> | <b>99%</b> | <b>\$1,610</b> | <b>\$(5,247)</b> | <b>NM</b> |
| 非継続事業                    |                 |                 |            | (33)           | 115              |           |
| 少数株主持分                   |                 |                 |            | (16)           | (21)             |           |
| <b>シティ合計</b>             |                 |                 |            | <b>\$1,593</b> | <b>\$(5,111)</b> | <b>NM</b> |
| 北米                       | \$10,806        | \$2,380         | NM         | \$(1,345)      | \$(5,586)        | 76%       |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ            | 5,721           | 1,588           | NM         | 1,802          | (1,159)          | NM        |
| ラテンアメリカ                  | 3,957           | 3,936           | 1          | 1,183          | 1,195            | (1)       |
| アジア                      | 3,809           | 4,587           | (17)       | 645            | 765              | (16)      |
| 本社事項、本社業務/その他            | 496             | (50)            | NM         | (675)          | (462)            | (46)      |
| <b>継続事業からのシティ合計</b>      | <b>\$24,789</b> | <b>\$12,441</b> | <b>99%</b> | <b>\$1,610</b> | <b>\$(5,247)</b> | <b>NM</b> |
| 非継続事業                    |                 |                 |            | (33)           | 115              |           |
| 少数株主持分                   |                 |                 |            | (16)           | (21)             |           |
| <b>シティ合計</b>             |                 |                 |            | <b>\$1,593</b> | <b>\$(5,111)</b> | <b>NM</b> |
| 優先株式配当                   |                 |                 |            | (1,221)        | (83)             |           |
| TARP ワラント割引償却            |                 |                 |            | (53)           | --               |           |
| 優先転換株式の見直し               |                 |                 |            | (1,285)        | --               |           |
| 普通株式株主帰属利益               |                 |                 |            | (966)          | (5,194)          | 81%       |
| 継続事業からの一株当たり利益           |                 |                 |            | \$(0.18)       | \$(1.06)         | 83%       |
| 一株当たり利益                  |                 |                 |            | \$(0.18)       | \$(1.03)         | 83%       |

NM: 意味を持たない。

## 第1 四半期の概要

- **収益**は 248 億ドルで、前年同期の約 2 倍となりました。証券及び銀行業務における堅調なトレーディングの業績並びに正味評価損の減少が収益の増加につながりました。厳しい経済環境は引き続きその他の業務全てに悪影響を及ぼしました。
  - グローバル・カード部門の GAAP 収益は 10% 減少しました。これは主に、北米における証券化信託からの貸倒損失の増加によるものです。管理ベースで、グローバル・カード部門の収益は 3%、北米は 6% 増加しました。当四半期の収益には、レデカード株式の売却による税引前利益 11 億ドルが含まれています。前年同期の収益にはビザ株式に関する利益 439 百万ドル及びレデカード株式売却益 663 百万ドルが含まれていました。
  - 個人向け銀行業務部門の収益は 18% 減少しました。これは資産運用商品販売の 42% の減少、米国ドルではない収益が報告のために米国ドルに換算されることによる影響(外国為替の影響)、取引高の減少及びスプレッドの縮小によるものです。
  - インスティテューショナル・クライアント・グループにおいて、証券及び銀行業務の収益は 72 億ドルでした。これは主に、堅調なトレーディングの業績が 22 億ドルの正味評価損及び損失によって部分的に相殺されたものです(詳細については付表 B を参照してください)。
  - トランザクション・サービスの収益は 1% 減少し 23 億ドルとなり、平均預金残高及びその他の顧客債務残高は 2% 減少しました。北米における二桁成長及びヨーロッパ・中東・アフリカの堅調な伸びによってもたらされた収益及び預金高の増加は、外国為替の影響により、それ以上に相殺されました。
  - グローバル・ウェルス・マネジメント部門の収益は 20% 減少しました。これは、全ての地域におけるキャピタル・マーケット及び投資事業の収益に係る市場状況の悪影響を反映しています。銀行預金プログラムにより銀行業務の収益が比較的好調だったことにより、収益の減少は部分的に相殺されました。
  - シティは、公正評価測定(FAS 第 157 号)及び一時的ではない減損(FAS 第 115 号)に関する FASB の最近の規定改定を適用しました。FAS 第 157 号の改定の適用はシティの財務結果に影響を及ぼしませんでした。FAS 第 115 号の改定の適用によって、当四半期収益における減損額が、約 631 百万ドル(税引前)の減少となりました。さらに、FAS 第 115 号の改定の累積的な影響は収益には影響を与えなかったものの、413 百万ドル(税引後)の繰越利益の増加及び貸借対照表上のその他の包括利益の相殺をもたらしました。
- **営業費用**は 23% 減少し 121 億ドルとなりました。これは、進行中のリエンジニアリングへの取り組みの効果、外国為替の影響、250 百万ドルの訴訟関連引当金戻入を反映するものです。前年同期の費用には正味費用 626 百万ドルが含まれていました(詳細については付表 D を参照してください)。これらの項目及び当四半期の訴訟関連引当金戻入を除くと、費用は 19% 減少しました。
- **与信費用**は 76% 増加し 103 億ドルとなりましたが、この内訳は正味貸倒損失 73 億ドル、正味貸倒引当金繰入額 27 億ドル及び保険給付準備金繰入額 332 百万ドルです。正味貸倒損失は 36 億ドル増加しましたが、これは主に北米における個人向け銀行業務部門及びカード部門並びに証券及び銀行業務に起因するものです。正味貸倒引当金繰入額 754 百万ドルの追加計上は、主にグローバル・カード部門並びに証券及び銀行業務に起因するものです。貸出金、リース、未実行貸出約定の引当金合計は、327 億ドルでした。
- **税金**: 継続事業の実効税率は、前年同期の 42.9% に対して 32.8% でした。当四半期は IRS 監査に関する問題の解決に伴う税務便益 110 百万ドルが含まれています。
- **資本ポジション**: 2009 年 1 月 15 日、シティは、米国財務省と連邦預金保険公社(FDIC)に対して、資産ポートフォリオ 3,010 億ドル(2008 年 11 月 21 日時点評価)に関する損失分担合意の対価として、優先株 71 億ドル及び普通株式を購入するワラントを発行しました。当該発行においては、規制目的上、36 億ドルが Tier 1 資本として扱われました。Tier 1 資本比率は、2008 年第 1 四半期 7.7% 及び 2008 年第 4 四半期 11.9% に対し、約 11.8% でした。前四半期からの Tier 1 資本比率の低下は主に、カード関連の証券化資産 820 億ドルの資本規制目的上の連結によるものでしたが、これは Tier 1 資本の増加とその他のリスク加重資産の減少により大部分が相殺されました。

## グローバル・カード部門

| (単位:百万ドル)            | 第1四半期収益        |                |              | 第1四半期純利益     |                |              |
|----------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
|                      | 2009           | 2008           | %<br>増減      | 2009         | 2008           | %<br>増減      |
| 北米                   | \$2,775        | \$3,343        | (17)%        | \$(209)      | \$537          | NM           |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ        | 492            | 585            | (16)         | (65)         | 42             | NM           |
| ラテンアメリカ              | 1,950          | 1,776          | 10           | 669          | 516            | 30           |
| アジア                  | 548            | 675            | (19)         | 22           | 131            | (83)         |
| <b>グローバル・カード部門合計</b> | <b>\$5,765</b> | <b>\$6,379</b> | <b>(10)%</b> | <b>\$417</b> | <b>\$1,226</b> | <b>(66)%</b> |

NM: 意味を持たない。

| (単位:百万ドル)   | 第1四半期収益 |         |         |
|-------------|---------|---------|---------|
|             | 2009    | 2008    | %<br>増減 |
| 北米の GAAP 収益 | \$2,775 | \$3,343 | (17)%   |
| 証券化業務の影響    | 2,452   | 1,610   | 52      |
| 北米の管理収益     | \$5,227 | \$4,953 | 6%      |

NM: 意味を持たない。

### ● 収益

- グローバル・カード部門の GAAP 収益は 10% 減少しました。これは、主として、北米における証券化信託からの貸倒損失の増加によるものです。当四半期における収益には、レデカード株式の売却益 11 億ドルが含まれています。前年同期には、ビザ株式に関する 439 百万ドルの利益及びレデカード株式の売却益 663 百万ドルが含まれていました。グローバル・カード部門の管理収益は 3% 増加しました。
  - 平均管理貸出金残高は 7% 減少しました。これは、ほぼ全ての地域における取扱高の減少及び外国為替の影響によるものです。
  - 北米では、GAAP 収益は 17% 減少しました。これは、証券化信託における貸倒損失の増加の影響を主として反映したことにより証券化収益が減少したことによるものです。管理収益は、6% 増加しました。これは、管理正味利息マージンが 252 ベーシス・ポイント増加して 12.61% となったことによるものですが、前年に計上したビザ株式に関する 349 百万ドルの利益が当四半期にはなかったことにより一部相殺されています。管理正味利息マージンの改善は、リボルビング残高の増加及び価格設定の値上げ措置による利息及び手数料収入の増加並びに資金調達コストの低下によるものです。取扱高は、消費者の裁量的支出及び非裁量的支出が引き続き減少したことを反映して 18% 減少しました。平均管理貸出金残高は 4% 減少しました。これは、取扱高及び借換高の減少によるものであり、返済率の低下により一部相殺されています。
  - ヨーロッパ・中東・アフリカでは、収益は 16% 減少しました。これは、正味利息マージンの 50 ベーシス・ポイントの拡大が、外国為替の影響により、それ以上に相殺されたことによるものです。取扱高は、外国為替の影響及び消費者の支出の減少を反映して 27% 減少しました。平均貸出金残高は、リボルビング利率の上昇の効果を外国為替の影響による相殺が上回ったことを反映して 15% 減少しました。
  - ラテンアメリカでは、収益は 10% 増加しました。これは、当四半期におけるレデカード株式の売却による税引前利益 11 億ドルによるものです(前年同期は 663 百万ドルの利益計上)。前年同期及び当四半期の両四半期におけるレデカード株式の売却分を除外すると、外国為替の影響及び正味利息マージンの 236 ベーシス・ポイントの低下により、収益は 25% 減少しました。正味利息マージンの低下は、主として、整理ローン債権における利息軽減の増加によるものです。取扱高は 28%、平均貸出金残高は 23% それぞれ減少しました。これは、外国為替の影響及び消費者の支出の減少を反映したものです。
- アジアでは、収益は 19% 減少しました。これは、持続的な収益の伸びを、外国為替の影響及び前年同期に計上したビザ株式に関する 81 百万ドルの利益が当四半期はなかったことにより、それ以上に相殺されたことによるものです。取扱高は、外国為替の影響及び消費者の支出の減少を反映して 20% 減少しました。平均貸出金残高は、貸出の伸びを、外国為替の影響による相殺が上回ったことにより、9% の減少となりました。

## ● 経費

- 経費は 15% 減少しました。これは、主として、マーケティング費用の減少、人員削減による報酬費用の減少、リエンジニアリングへの取組みによる効果及び外国為替の影響によるものです。前年同期の経費には、ビザ関連訴訟引当金の戻入れによる 172 百万ドルの正味費用効果及びメキシコにおける組織再編に関連する費用効果が含まれており、これらはリポジショニング費用により一部相殺されています。

## ● 与信費用

- 北米では、正味貸倒損失の 81% (498 百万ドル) の増加及び正味貸倒引当金繰入額 342 百万ドルの追加計上の結果、与信費用は 91% 増加しました。与信費用の増加は、主な信用関連指標が引き続き悪化したこと及びマクロ経済環境のトレンド(失業率の上昇、破産申立ての増加及び住宅市場の低迷を含みます。)によるものです。与信費用には、延滞顧客が回収不能に至る比率が引き続き増加したことに加えて、顧客が延滞に至る比率が顕著に増加したことも反映されています。管理正味貸倒損失率は、シティブランドのポートフォリオでは 395 ベーシス・ポイント上昇して 8.88% に、リテール・パートナーのポートフォリオでは 508 ベーシス・ポイント上昇して 12.40% になりました。この比率は正味貸倒損失の増加を反映しており、平均管理貸出金の減少により悪化しています。
- ヨーロッパ・中東・アフリカでは、正味貸倒損失の 67% (94 百万ドル) の増加及び正味貸倒引当金繰入額 167 百万ドルの追加計上の結果、与信費用は 261 百万ドル増加しました。与信費用の増加は、英国、スペイン及びギリシャにおいて引き続き与信が悪化したことを反映しており、外国為替の影響により一部相殺されています。正味貸倒損失率は 358 ベーシス・ポイント上昇して 7.14% となりました。
- ラテンアメリカでは、正味貸倒損失の 17% (61 百万ドル) 増加が正味貸倒引当金繰入額の減少及び外国為替の影響により相殺されたため、与信費用は 5% 減少しました。前年同期比の正味貸倒損失の増加は主にメキシコによるものですが、延滞口座は 3 四半期連続で減少しています。当四半期における貸倒引当金の繰入れは前年同期より 92 百万ドル減少していますが、これは、主に外国為替の影響及び取扱高の減少によるものです。正味貸倒損失率は 540 ベーシス・ポイント上昇して 15.65% となりました。
- アジアでは、正味貸倒損失の 31% (42 百万ドル) の増加及び正味貸倒引当金繰入額 68 百万ドルの追加計上の結果、与信費用は 69% 増加しました。与信費用の増加は、主として、インドにおいて引き続き状況が悪化したことを反映していますが、外国為替の影響により一部相殺されています。正味貸倒損失率は 145 ベーシス・ポイント上昇して 4.62% となりました。

## ● 純利益

- 主として、与信費用の顕著な増加により、純利益は 66% 減少しました。

### 個人向け銀行業務部門

| (単位:百万ドル)           | 第 1 四半期収益      |                |              | 第 1 四半期純利益       |             |           |
|---------------------|----------------|----------------|--------------|------------------|-------------|-----------|
|                     | 2009           | 2008           | % 増減         | 2009             | 2008        | % 増減      |
| 北米                  | \$3,955        | \$4,485        | (12)%        | \$(1,245)        | \$(333)     | NM        |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ       | 506            | 700            | (28)         | (178)            | (85)        | NM        |
| ラテンアメリカ             | 818            | 1,048          | (22)         | 81               | 271         | (70)      |
| アジア                 | 1,123          | 1,558          | (28)         | 116              | 199         | (42)      |
| <b>個人向け銀行業務部門合計</b> | <b>\$6,402</b> | <b>\$7,791</b> | <b>(18)%</b> | <b>\$(1,226)</b> | <b>\$52</b> | <b>NM</b> |

NM: 意味を持たない。

収益は 18% 減少しました。これは、資産運用商品販売の 42% の減少、外国為替の影響、取引高の減少及びスプレッドの縮小によるものです。資産運用商品の販売の減少は、世界的なキャピタル・マーケット活動が一般的に低調であったためです。平均貸出金残高は 10% 減少しました。これは、主に北米における住宅用不動産ローンの減少及び外国為替の影響によるものです。平均預金残高も、外国為替の影響により 10% 減少しました。経費は 18% 減少しました。これは、リエンジニアリングの取組みの効果及び外国為替の影響を反映したものです。50 億ドルの与信費用は、主に北米の住宅用不動産における 38 億ドルの正味貸倒損失及び正味貸倒引当金繰入額 12 億ドルを含みます。与信費用の 44% の増加は、主に北米における正味貸倒損失の増加によるものです。

- **北米**

- 収益は 12% 減少しました。これは、主に取引高の減少及びスプレッドの縮小によるものです。平均貸出金残高は、8% 減少しました。これは住宅用不動産の融資及びローンが減少したことによるものです。平均預金残高は、4% 増加しました。
- 与信費用は 51% 増加しました。これは、住宅用不動産を原因とした正味貸倒損失の 88% (14 億ドル) の増加及び 989 百万ドルの正味貸倒引当金繰入額によります。貸倒引当金繰入額は、前年同期よりも 44 百万ドル減少しています。与信費用は、主な信用関連指標が引き続き悪化していること (第 1 及び第 2 順位抵当貸付、個人向け融資及びコマースローンにおける延滞が引き続き増加していることを含みます) を反映しています。与信費用は、住宅市場の低迷を含むマクロ経済環境のトレンドも反映しています。正味貸倒損失率は、213 ベーシス・ポイント上昇して 4.15% になりました。与信費用の大幅な増加が、リエンジニアリングの取組み及び費用管理の効果を上回り、12 億ドルの純損失となりました。

- **ヨーロッパ・中東・アフリカ**

- 収益は 28% 減少しました。これは、主に市場状況の悪化を要因として、資産運用商品の販売が 64%、運用資産が 49% それぞれ減少したためです。平均貸出金残高は、融資審査の引締め、特定の市場からの撤退及び外国為替の影響により、21% 減少しました。平均預金残高は、35% 減少しました。これは、顧客が政府保証プログラムに預金を対応させることによる英国における残額の減少及び外国為替の影響を反映しています。
- 与信費用はおよそ 2 倍になりました。これは、正味貸倒損失の 57% (91 百万ドル) の増加及び正味貸倒引当金繰入額 100 百万ドルの追加計上によるものです。与信費用の増加は、特にスペイン、ギリシャ及び英国において引き続き与信が悪化したことを反映しています。正味貸倒損失率は、256 ベーシス・ポイント上昇して 5.11% になりました。与信費用の増加及び収益の減少が、経費の減少を上回り、178 百万ドルの純損失となりました。

- **ラテンアメリカ**

- 収益は 22% 減少しました。外国為替の影響により、平均貸出金残高が 7%、平均預金残高が 19%、それぞれ減少しました。
- 与信費用は、15% 増加しました。これは、正味貸倒引当金繰入額 20 百万ドルの追加計上によるものです。正味貸倒損失は、前年同期と同じです。正味貸倒損失率は、32 ベーシス・ポイント上昇して 4.10% になりました。純利益は、70% 減少して 81 百万ドルになりました。これは、主に、収益の減少及び前年同期に計上されたメキシコにおける組織再編に関連する費用効果 221 百万ドルがないことによります。前年同期からその費用効果を除くと、純利益は 37% 減少しました。

- **アジア**

- 日本の消費者金融事業を除くと、収益は 25% 減少しました。これは、主に、アジア全体の株式市場が引き続き低迷していることを反映して、資産運用商品の販売が 66% 減少し、資産運用商品の収益が大幅に減少したこと、及び外国為替による若干の影響によるものです。平均貸出金残高が 19%、平均預金残高が 15%、それぞれ減少しましたが、これは主に外国為替の影響によるものです。与信費用は、正味貸倒損失の 45% (57 百万ドル) の増加により、22% 増加しました。正味貸倒引当金繰入額は、前年同期から 8 百万ドル減少して 91 百万ドルとなりました。与信費用が増加したのは、主に、インドにおける与信環境が引き続き悪化しているためです。正味貸倒損失率は、81 ベーシス・ポイント上昇して 1.79% になりました。純利益は、47% 減少して 152 百万ドルになりました。
- 日本の消費者金融事業では、収益は 40% 減少しました。これは、引き続きポートフォリオ抑制をしたことにより純利息収益が減少したことを反映しています。平均貸出金残高は 15% 減少し、正味貸倒損失率は、253 ベーシス・ポイント上昇して 16.86% になりました。

### インスティテューショナル・クライアント・グループ

| (単位:百万ドル)                       | 第1四半期収益        |                  | %<br>増減   | 第1四半期純利益       |                  | %<br>増減   |
|---------------------------------|----------------|------------------|-----------|----------------|------------------|-----------|
|                                 | 2009           | 2008             |           | 2009           | 2008             |           |
| 北米                              | \$1,512        | \$(8,317)        | NM        | \$(269)        | \$(6,034)        | 96%       |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ                   | 3,810          | (680)            | NM        | 1,728          | (1,364)          | NM        |
| ラテンアメリカ                         | 794            | 680              | 17        | 294            | 250              | 18        |
| アジア                             | 1,069          | 1,012            | 6         | 237            | 59               | NM        |
| 証券及び銀行業務                        | \$7,185        | \$(7,305)        | NM        | \$1,990        | \$(7,089)        | NM        |
| 北米                              | \$583          | \$493            | 18%       | \$134          | \$79             | 70%       |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ                   | 787            | 813              | (3)       | 291            | 222              | 31        |
| ラテンアメリカ                         | 335            | 332              | 1         | 148            | 132              | 12        |
| アジア                             | 617            | 709              | (13)      | 270            | 299              | (10)      |
| トランザクション・サービス                   | \$2,322        | \$2,347          | (1)%      | \$843          | \$732            | 15%       |
| <b>インスティテューショナル・クライアント・グループ</b> | <b>\$9,507</b> | <b>\$(4,958)</b> | <b>NM</b> | <b>\$2,833</b> | <b>\$(6,357)</b> | <b>NM</b> |

NM: 意味を持たない。

| (単位:百万ドル)                       | 第1四半期収益        |                  | %<br>増減   |
|---------------------------------|----------------|------------------|-----------|
|                                 | 2009           | 2008             |           |
| アドバイザーフィー及びその他の手数料              | \$230          | \$307            | (25)%     |
| 株式引受                            | 194            | 229              | (15)      |
| 債券引受                            | 847            | (2,082)          | NM        |
| GWMに割り当てられた収益                   | (52)           | (121)            | 57        |
| 投資銀行業務                          | 1,219          | (1,667)          | NM        |
| 貸出業務                            | (364)          | 584              | NM        |
| 株式市場業務                          | 1,903          | 979              | 94        |
| 債券市場業務                          | 4,688          | (7,023)          | NM        |
| その他の証券及び銀行業務                    | (261)          | (178)            | (47)      |
| 証券及び銀行業務                        | \$7,185        | (7,305)          | NM        |
| トレジャリー及びトレード・ソリューション            | \$1,726        | \$1,519          | 14%       |
| 証券業務                            | 596            | 828              | (28)      |
| トランザクション・サービス                   | \$2,322        | \$2,347          | (1)%      |
| <b>インスティテューショナル・クライアント・グループ</b> | <b>\$9,507</b> | <b>\$(4,958)</b> | <b>NM</b> |

NM: 意味を持たない。

#### ● 証券及び銀行業務

- 証券及び銀行業務の収益は72億ドルとなりました。これはトレーディングの良好な業績並びに正味評価損及び損失が低下し22億ドルとなったことによるものです(付表Bを参照して下さい。)
- 債券市場業務の収益は47億ドルとなりました。これは、多数の商品における高いボラティリティ及びスプレッドの拡大がトレーディングの好機もたらしたことにより、トレーディングにおける実績が好調であったことを反映しています。金利、為替及びクレジット商品事業では、収益の堅実な成長がみられました。収益には更に以下が含まれています(全て付表Bに反映されています。)

- デリバティブ・ポジション(モノライン保険会社を除きます。)の時価会計に関する正味収益25億ドル。これは、主にシティのCDSスプレッドの拡大によるものです。
- 公正価値オプションによるシティの負債の時価会計に関する正味収益30百万ドル。
- 2008年第4四半期において公正価値会計から発生主義会計に移行した資産に関する非クレジット評価に伴う収益増加に関連する541百万ドルの効果。

収益は以下により一部減殺されました(全て、付表Bに反映されています。)

- サプライム関連の直接的エクスポージャーに関する正味評価損23億ドル。詳細については、付表Cを参照してください。
  - プライベートエクイティ及びエクイティ投資に関する12億ドルの損失。
  - モノライン保険会社に対するエクスポージャーに関連する与信評価の11億ドルの下方修正。
  - Alt-A抵当貸付けについての490百万ドルの正味評価損及び減損。
  - 商業不動産のポジションに関する186百万ドルの評価損。
- 株式市場業務の収益は94%増加し、19億ドルとなりました。これは主に、デリバティブ・ポジション(モノライン保険会社を除きます。)に関する時価会計に関する正味収益 233 百万ドル及び公正価値オプションによるシティの負債の時価会計に関する正味収益 150 百万ドルによるものです(ともに付表 B に反映されています。)。収益はまた、デリバティブ、転換社債、及び株式取引における好調な実績を反映しています。
  - 貸出業務の収益は948百万ドル減少し、364百万ドルの赤字となりました。これは主にクレジット・デフォルト・スワップのヘッジによる損失によるものです。収益の赤字は、高レバレッジ・ファイナンス・コミットメントに関する正味評価損及び減損 247 百万ドルも含まれます(付表 B に反映されています。)
  - 投資銀行業務の純収益は、前年同期の 17 億ドルの赤字に対して、12 億ドルとなりました。
    - アドバイザリー業務の収益は、取引高の減少及び引き続き厳しい市場状況を反映して、25%減少し、230百万ドルとなりました。
    - 株式引受業務の収益は、取引高の減少の継続を反映して、15%減少し、194百万ドルとなりました。
    - 債券引受業務の収益は、大幅に増加し847百万ドルとなりました。これは主に、高レバレッジ・ファイナンス・コミットメントに関する評価損がなかったことによります。
  - 経費は39%減少しました。これには訴訟引当金戻入額 250 百万ドルが含まれています。前年同期には、オールド・ローンに関する無形資産の評価損 202 百万ドル及びリポジショニング費用 305 百万ドルが含まれていました。前年同期及び今期の双方からこれらの項目を除けば、経費は25%の減少となりました。これは、人員削減による報酬費用の減少並びにリエンジニアリング及び経費管理への取り組みによる効果によるものです。
  - 与信費用は大幅に増加し、18億ドルとなりました。正味貸倒損失は増加し、14億ドルとなりましたが、これは主に、ライオンデルバセルに起因するものです。306百万ドルの正味貸倒引当金繰入額は、特定の取引相手方のための12億ドルの追加計上及び法人の与信環境の全般的な悪化を反映するための506百万ドルの追加計上によるもので、この大部分は、特定の取引相手方、主にライオンデルバセルのための14億ドルの戻し入れにより相殺されました。

#### ● トランザクション・サービス

- トランザクション・サービス業務の収益は1%減少し、23億ドルとなりました。平均預金残高及び他の顧客債務残高は2%減少しました。北米及びヨーロッパ・中東・アフリカの好調な業績による収益及び預金残高の増加は、外国為替の影響により、それ以上に相殺されました。管理資産は、主として株式市場の低迷を背景に、20%減少しました。
  - トレジャー及びトレード・ソリューション(TTS)の収益は14%増加しました。これは債務及びスプレッドの増加及び新規取引の獲得による手数料収入の増加によるものです。証券サービスの収益は28%減少しましたが、これは主に、管理資産の評価が低下したこと並びに取引高及び残高に対する市場の混乱の影響により、手数料が減少したためです。
  - 北米の収益は18%増加しましたが、これは主に債務残高からの金利収益が増加したことによるものです。ヨーロッパ・中東・アフリカでは、収益、外国為替の影響による相殺が顧客債務残高の増加を上回り、収益は3%減少しました。ラテンアメリカの収益は1%増加しました。これは、TTSにおけるスプレッドの増加が、証券サービスにおける取引高の減少及び外国為替の影響により相殺されたことによるものです。アジアにおける収益は13%減

少しでしたが、これは主に外国為替の影響並びに厳しい市場状況と資産評価の低下を背景とする、証券サービスにおける取引高及び管理資産の減少によるものです。

- 経費は、人員削減及びリエンジニアリングへの取組みによる効果、並びに外国為替の影響により、15%減少しました。
- 純利益は、北米、ヨーロッパ・中東・アフリカ、及びラテンアメリカにおける二桁台成長を背景に、15%増加し、843百万ドルという記録的な数字となりました。TTSにおける非常に好調な業績、並びにリエンジニアリング及び経費管理への取組みによる効果により、純利益は増益となりました。

### グローバル・ウェルス・マネジメント部門

| (単位:百万ドル)                  | 第1四半期収益        |                | %            | 第1四半期純利益     |              | %            |
|----------------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|                            | 2009           | 2008           |              | 2009         | 2008         |              |
| 北米                         | \$1,981        | \$2,376        | (17)%        | \$244        | \$165        | 48%          |
| ヨーロッパ・中東・アフリカ              | 126            | 170            | (26)         | 26           | 26           | --           |
| ラテンアメリカ                    | 60             | 100            | (40)         | (9)          | 26           | NM           |
| アジア                        | 452            | 633            | (29)         | --           | 77           | NM           |
| <b>グローバル・ウェルス・マネジメント部門</b> | <b>\$2,619</b> | <b>\$3,279</b> | <b>(20)%</b> | <b>\$261</b> | <b>\$294</b> | <b>(11)%</b> |

NM:意味を持たない。

- グローバル・ウェルス・マネジメント部門の収益は、全地域におけるキャピタル・マーケット及び投資事業の収益に係る市場状況の悪影響を反映して、20%減少しました。収益の減少は、銀行預金プログラムによる銀行業務の収益の増加により一部相殺されています。平均貸出金残高は17%、平均預金残高は11%、それぞれ減少し、手数料ベースの運用顧客資産残高は39%減少しました。手数料ベースの運用顧客資産残高の減少は、主として資産評価が低下したことによるものです。400億ドルの純顧客資産流出は、ファイナンシャル・アドバイザーの人員削減及び顧客の多様化によるものです。人員削減は、以前に公表された報酬制度に沿って、勤務評定の低い層に重点を置いて行っています。
  - 北米の収益は17%減少しました。これは、厳しい市場状況により投資及びキャピタル・マーケット事業の収益が減少したことによるものですが、銀行業務の収益の増加によって一部相殺されています。平均預金残高は、1%減少しました。
  - ヨーロッパ・中東・アフリカにおける収益は、主として、管理手数料の減少及び市場状況の影響により、26%減少しました。
  - ラテンアメリカにおける収益は、市場状況の影響を反映して40%減少しました。
  - アジアにおける収益は29%減少しました。これは、厳しい市場状況が続いたことにより投資及びキャピタル・マーケット事業の収益が大幅に減少したことによるものです。
- 経費は、報酬費用の減少及び前年同期に計上したファルコン・ファンズの清算のための250百万ドルの引当がなかったことを反映して、25%減少しました。与信費用は91百万ドル増加しました。これは、主として、北米の住宅抵当貸付及びマージンローンに関して正味貸倒引当金繰入額83百万ドルを追加計上したことによるものです。純利益は11%減少して261百万ドルとなりました。

### 本社事項、本社業務/その他

本社事項、本社業務/その他の496百万ドルの収益は、主としてヘッジによるものです。675百万ドルの純損失は、主として米国政府との損失分担プログラムの費用の償却を主因とする経費の増加に加えて、本社における税額の増加によるものです。

非GAAPの財務情報の調整は、本プレスリリースの16ページに記載されています。

シティは、約 2 億の顧客口座を有し、世界 100 カ国以上に展開する世界有数のグローバルな金融機関です。顧客、企業、政府及び機関投資家を対象として、個人向け銀行業務、消費者金融、法人・投資銀行業務、証券業務、資産管理の分野において、幅広い金融商品やサービスを提供しています。シティの主要なブランドには、シティバンク、シティ・フィナンシャル、プライメリカ、スミス・パーニー、パナメックス及び日興が含まれます。詳しくは、[www.citigroup.com](http://www.citigroup.com) または [www.citi.com](http://www.citi.com) をご覧ください。

追加の財務、統計及び業務関連の情報並びに業務及びセグメントのトレンドに関してはフィナンシャル・サプPLEMENT (Financial Supplement) に含まれていません。本発表及びフィナンシャル・サプPLEMENTはシティのウェブサイト([www.citigroup.com](http://www.citigroup.com) または [www.citi.com](http://www.citi.com)) にて入手することができます。

本書には、米国民事証券訴訟改革法に定める「将来の見通しに関する記述」が含まれています。こうした記述は、経営陣の現在の予測に基づくものであり、不確定要素や状況の変化により影響を受けます。様々な要因により、実際に生じる結果は、こうした記述に含まれる情報と大きく異なる可能性があります。これらの要因に関するより詳細な情報は、シティグループが米国証券取引委員会に提出する文書中に記載されます。

本発表に関する日本国内の連絡先:

シティグループ・インク代理人  
長島・大野・常松法律事務所  
弁護士 杉本文秀  
電話: 03-3511-6133 (直通)

付表 A

地域別業績

| (単位:百万ドル)                | 第 1 四半期収益       |                 |              | 第 1 四半期純利益       |                  |              |
|--------------------------|-----------------|-----------------|--------------|------------------|------------------|--------------|
|                          | 2009            | 2008            | %<br>増減      | 2009             | 2008             | %<br>増減      |
| グローバル・カード部門              | \$2,775         | \$3,343         | (17)%        | \$(209)          | \$537            | NM           |
| 個人向け銀行業務部門               | 3,955           | 4,485           | (12)         | (1,245)          | (333)            | NM           |
| インスティテューショナル・クライアント・グループ | 2,095           | (7,824)         | NM           | (135)            | (5,955)          | 98           |
| グローバル・ウェルス・マネジメント部門      | 1,981           | 2,376           | (17)         | 244              | 165              | 48           |
| <b>北米</b>                | <b>\$10,806</b> | <b>\$2,380</b>  | <b>NM</b>    | <b>\$(1,345)</b> | <b>\$(5,586)</b> | <b>76%</b>   |
| グローバル・カード部門              | \$492           | \$585           | (16)%        | \$(65)           | \$42             | NM           |
| 個人向け銀行業務部門               | 506             | 700             | (28)         | (178)            | (85)             | NM           |
| インスティテューショナル・クライアント・グループ | 4,597           | 133             | NM           | 2,019            | (1,142)          | NM           |
| グローバル・ウェルス・マネジメント部門      | 126             | 170             | (26)         | 26               | 26               | --           |
| <b>ヨーロッパ・中東・アフリカ</b>     | <b>\$5,721</b>  | <b>\$1,588</b>  | <b>NM</b>    | <b>\$1,802</b>   | <b>\$(1,159)</b> | <b>NM</b>    |
| グローバル・カード部門              | \$1,950         | \$1,776         | 10%          | \$669            | \$516            | 30%          |
| 個人向け銀行業務部門               | 818             | 1,048           | (22)         | 81               | 271              | (70)         |
| インスティテューショナル・クライアント・グループ | 1,129           | 1,012           | 12           | 442              | 382              | 16           |
| グローバル・ウェルス・マネジメント部門      | 60              | 100             | (40)         | (9)              | 26               | NM           |
| <b>ラテンアメリカ</b>           | <b>\$3,957</b>  | <b>\$3,936</b>  | <b>1%</b>    | <b>\$1,183</b>   | <b>\$1,195</b>   | <b>(1)%</b>  |
| グローバル・カード部門              | \$548           | \$675           | (19)%        | \$22             | \$131            | (83)%        |
| 個人向け銀行業務部門               | 1,123           | 1,558           | (28)         | 116              | 199              | (42)         |
| インスティテューショナル・クライアント・グループ | 1,686           | 1,721           | (2)          | 507              | 358              | 42           |
| グローバル・ウェルス・マネジメント部門      | 452             | 633             | (29)         | --               | 77               | NM           |
| <b>アジア</b>               | <b>\$3,809</b>  | <b>\$4,587</b>  | <b>(17)%</b> | <b>\$645</b>     | <b>\$765</b>     | <b>(16)%</b> |
| 本社事項、本社事項/その他            | 496             | (50)            | NM           | (675)            | (462)            | (46)         |
| <b>継続事業からのシティ合計</b>      | <b>\$24,789</b> | <b>\$12,441</b> | <b>99%</b>   | <b>\$1,610</b>   | <b>\$(5,247)</b> | <b>NM</b>    |
| 非継続事業                    |                 |                 |              | (33)             | 115              |              |
| 少数株主持分                   |                 |                 |              | (16)             | (21)             |              |
| <b>シティ合計</b>             |                 |                 |              | <b>\$1,593</b>   | <b>\$(5,111)</b> | <b>NM</b>    |

NM: 意味を持たない。

付表 B

証券及び銀行業務の収益項目の概要

| (単位:百万ドル)                         | 2008年<br>第1四半期 | 2008年<br>第4四半期 | 2009年<br>第1四半期 |
|-----------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| サブプライム関連の直接的エクスポージャーの正味評価損        | \$(5,912)      | \$(4,582)      | \$(2,296)      |
| プライベートエクイティ及びエクイティ投資*             | (353)          | (2,480)        | (1,240)        |
| モライン保険会社のエクスポージャーに関する与信評価の下方修正    | (1,491)        | (897)          | (1,090)        |
| Alt-A モーゲージ証券の正味評価損及び減損純額         | (1,015)        | (1,319)        | (490)          |
| 高レバレッジ・ファイナンス・コミットメントの正味評価損及び減損純額 | (3,078)        | (594)          | (247)          |
| 商業不動産ポジションの評価損                    | (573)          | (991)          | (186)          |
| ARS 自己勘定ポジションの評価損                 | (1,457)        | (307)          | (23)           |
| SIV 資産の評価損                        | (212)          | (1,064)        | (47)           |
| 公正価値オプションによるシティの負債の時価会計           | 1,279          | 1,981          | 180            |
| デリバティブ・ポジションの時価会計(モライン保険会社を除く)*   | (277)          | (5,308)        | 2,738          |
| 収益項目合計                            | \$(13,089)     | \$(15,561)     | \$(2,701)      |
| 非与信関連の増加*                         | --             | 190            | 541            |
| 純収益項目                             | \$(13,089)     | \$(15,371)     | \$(2,160)      |

\* これらの項は、前四半期の収益項目の概要に反映されていませんでした。

付表C

証券及び銀行業務におけるサブプライム関連の直接的エクスポージャー  
 以下の表は、証券及び銀行業務におけるシティのサブプライム関連の直接的エクスポージャー(CDO スーパー・シニアに係るエクスポージャー並びに貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャーにより構成)を示したものであります。

| (単位:10 億ドル)  | 2008 年 12 月 31 日<br>エクスポージャー | 2009 年第 1 四半期<br>評価損 <sup>(1)</sup> | 2009 年第 1 四半期<br>売却 / 移転 / リスト<br>ラクチャリング /<br>清算 / 返済 | 2009 年 3 月 31 日<br>エクスポージャー |
|--|------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------|
| <b>直接的 ABS CDO スーパー・シニア・エクスポージャー:</b>                |                              |                                     |  |                             |
| ABS CDO スーパー・シニアに係る<br>総エクスポージャー                     | \$18.9                       |                                     |  | \$15.2                      |
| ヘッジド・エクスポージャー  | 6.9                          |                                     |  | 6.6                         |
| ABS CDO スーパー・シニアに係る<br>正味のエクスポージャー:                  |                              |                                     |  |                             |
| ABCP <sup>(2)</sup>                                  | \$9.9                        | \$(2.0)                             | \$(0.4)  | \$7.6                       |
| ハイグレード   | 0.8                          | (0.1)                               | (0.0)  | 0.6                         |
| メザニン   | 1.3                          | (0.2) <sup>(3)</sup>                | (0.8)  | 0.3                         |
| ABS CDO スクエアード                                       | 0.0                          | (0.0)                               | (0.0)  | 0.0                         |
| <b>ABS CDO スーパー・シニアに係る<br/>正味のエクスポージャー合計</b>         | <b>\$12.0</b>                | <b>\$(2.3)</b>                      | <b>\$(1.2)<sup>(4)</sup></b>                           | <b>\$8.5</b>                |
| <b>貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャー:</b>                  |                              |                                     |  |                             |
| 一時保有の CDO / ABS CDO の<br>未販売トランシェ                    | \$0.1                        | \$(0.0)                             | \$(0.0)  | \$0.0                       |
| 転売又は証券化目的で購入された<br>サブプライム・ローン                        | 1.3                          | (0.1)                               | (0.1)  | 1.1                         |
| サブプライムにより担保された<br>ファイナンス取引                           | 0.7                          | 0.0 <sup>(3)</sup>                  | (0.1)  | 0.5                         |
| <b>貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャー合計</b>                 | <b>\$2.0</b>                 | <b>\$(0.1)</b>                      | <b>\$(0.3)</b>   | <b>\$1.7</b>                |
| <b>エクスポージャー合計<sup>(5)</sup></b>                      | <b>\$14.1</b>                | <b>\$(2.4)</b>                      | <b>\$(1.4)</b>   | <b>\$10.2</b>               |
| ヘッジ・カウンターパーティー・エクスポージャー<br>に係る与信評価の調整 <sup>(6)</sup> |                              | \$(1.1)                             |  |                             |
| <b>正味評価損合計</b>                                       |                              | <b>\$(3.5)</b>                      |  |                             |

(1) 清算に伴う純利益を含みます。

(2) 過去のハイグレードの ABS CDO を含みます。

(3) 与信費用に計上された合計 147 百万ドルも含まれます。

(4) CDO の清算に伴い原資産である有価証券の一部が買い取られ、トレーディング・ブック上で管理・売却が行われています。2009 年 3 月 31 日現在、清算された取引に関する 175 百万ドルがトレーディング・ブック上で保管されています。

(5) CDO スーパー・シニアに係る正味のエクスポージャー並びに貸出及びストラクチャリング業務におけるエクスポージャーの総額によって構成されます。

(6) FAS 第 157 号による調整はカウンターパーティーと信リスクに関連するものです。

注記: 四捨五入により、合計欄は必ずしも上記の値の総計ではありません。

シティの CDO スーパー・シニアに係るサブプライム関連の直接的エクスポージャーを構成する ABCP 及び CDO スクエアードは、清算に関連する損失を除き、観察可能な取引を基礎とした評価ではなく、内在的なキャッシュフロー分析を基礎とした評価に服しています。見込額算定のための数値は現在の市場の動向を反映するために修正されています。かかる分析方法では、将来 4 年間に関する住宅価格の調整見込み、失業率、利率、その変動率及びモーゲージの実績データを含むマクロ経済ファクター、並びに、貸付の性格(例えば貸付期間、与信スコア、契約等の作成状況、ローン・トゥー・バリュー(LTV)比率及びデット・トゥー・インカム(DTI)比率)を含むミクロ経済ファクターの両方を考慮に入れています。加えて、かかる分析では、抵当担保の地域的集中の影響、サブプライム抵当担保の組成に関し報告されている詐欺行為の予想される影響や各段階におけるエクスポージャーに適用される割引率を考慮に入れています。

スーパー・シニアに係るサブプライム関連の直接的エクスポージャーを構成するハイグレード及びメザニンは、原資産担保の取引に基づいて評価されています。現在、ハイグレード及びメザニンのポジションが観察可能な取引に基づいて評価されるショートポジションによって大きくヘッジされており、また、2008 年度第 3 四半期において複数のハイグレードのポジションの清算がありました。

ABCP 及び CDO スクエアードスーパー・シニアに係るエクスポージャーの公正価値の見込額は市場状況によって異なり、将来のさらなる変化に服するものです。また、シティはかかるエクスポージャー評価に使われる分析方法が合理的であると信じておりますが、かかる分析方法は、将来の市場環境の変化等に応じて継続

的に改善されていくものです。さらにいくつかあるいは全てのかかる ABCP 及び CDO スクエアードのエクスポージャーに関する観察可能な取引が行われているか、又は将来行われる限度において、見込額に代えて、かかる観察可能な取引が公正価格の決定に使われる可能性があります。

ほとんどの貸出及びストラクチャリング業務における直接的サブプライムエクスポージャーは観察可能な取引及びその他の市場データを基礎とした公正価格です。このエクスポージャーの大半はレベル 3 資産に分類されます。

証券及び銀行業務においては、米国のサブプライム住宅抵当引当証券 (RMBS) 及び関連商品 (例えば ABS CDO) に関する、トレーディングに関するショート、ロングの両ポジションを持っておりますが、それらは上記の数値には入っておりません。かかるポジションに関するエクスポージャーは積極的に管理され、またヘッジされておりますが、使用されているヘッジ商品の有効性は市場状況の変化によって変わってくる可能性があります。

付表 D

プレスリリース開示項目の概要

証券及び銀行業務におけるサブプライム関連の直接的エクスポージャーについては、付表 C をご参照下さい。

| 2009年第1四半期(単位:百万ドル) | 税引き前効果                 | 税引き後効果 | 損益計算書の<br>項目 | 事業部門/地域  |
|---------------------|------------------------|--------|--------------|--|
| レデカード株式に関する利益       | \$1,116 <sup>(1)</sup> | \$704  | 収益/費用        | グローバル・カード部門/ラテンアメリカ  |
| 訴訟関連引当金戻入れ          | 250                    | 154    | 費用           | 証券及び銀行業務/北米  |
| IRS税務調査に関連する税務便益    | n/a                    | \$110  | 税金           | 個人向け銀行業務部門、インスティテューショナル・クライアント・グループ及びグローバル・ウェルス・マネジメント部門/全地域 |

(1) 収益 1,119 百万ドル及び費用 3 百万ドルを含みます。

| 2008年第1四半期(単位:百万ドル)                   | 税引き前効果               | 税引き後効果 | 損益計算書の<br>項目 | 事業部門/地域                                   |
|---------------------------------------|----------------------|--------|--------------|---|
| レデカード株式に関する利益                         | \$661 <sup>(1)</sup> | \$426  | 収益/費用        | グローバル・カード部門/ラテンアメリカ                       |
| ビザ株式に関する利益                            | 468                  | 299    | 収益           | グローバル・カード部門、個人向け銀行業務部門及びトランザクション・サービス/全地域 |
| メキシコにおける組織再編に関連する費用効果                 | 282                  | 181    | 費用           | 全事業部門/ラテンアメリカ                             |
| ビザ・インク関連訴訟引当金の一部戻入れ                   | 166                  | 107    | 費用           | グローバル・カード部門、トランザクション・サービス/北米              |
| オールド・レーン関連マルチストラテジー・ヘッジファンド無形資産の評価損   | (202)                | (129)  | 費用           | 証券及び銀行業務/北米                               |
| 日本において保有される株式投資の評価損                   | (212)                | (138)  | 収益           | 証券及び銀行業務/アジア <sup>(2)</sup>               |
| シティがGWM顧客のために運用するファンドへの流動化を促進するための引当金 | (250)                | (163)  | 費用           | グローバル・ウェルス・マネジメント部門/北米                    |
| リポジショニング費用                            | (620)                | (394)  | 費用           | シティ全体                                     |

(1) 収益 663 百万ドル及び費用 2 百万ドルを含みます。

(2) 本社事項、本社業務/その他から証券及び銀行業務に組み替えられました。

## 非 GAAP 財務指標

下記は、米国証券取引委員会 (SEC) 規則の「非 GAAP 財務指標」として考慮される指標です。

- 1) シティの費用はリポジショニング費用、メキシコにおける組織再編に関連する費用効果、ビザ関連訴訟引当金の一部戻入れ、オールド・レーン無形資産評価損、ファルコン・ファンド清算引当金、レデカード株式売却関連費用、及び訴訟関連引当金戻入れを除外しています。
- 2) グローバル・カード部門収益は管理ベースとなっています。
- 3) ラテンアメリカ・カード部門収益はレデカード株式売却益を除外しています。
- 4) ラテンアメリカ個人向け銀行業務部門純利益は、メキシコにおける組織再編に関連する費用効果を除外しています。
- 5) アジア個人向け銀行業務部門の収益は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 6) アジア個人向け銀行業務部門の与信費用は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 7) アジア個人向け銀行業務部門の正味貸倒損失は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 8) アジア個人向け銀行業務部門の正味貸倒損失率は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 9) アジア個人向け銀行業務部門の純利益は、日本の消費者金融事業を除外しています。
- 10) 証券及び銀行業務費用は、リポジショニング費用、オールド・レーン無形資産評価損及び訴訟関連引当金戻入れを除外しています。

当社は、これらの非 GAAP 財務指標は、現在の業務のより深い理解を提供し、前期間におけるこれらの結果との比較可能性を高め、また、当四半期における特別の利益や費用の影響を示すものであると考えます。当社は、その業績の意義ある分析のためには業績の背後にあるファクターの理解が欠かせないものであると考えます。当社は、当社の業績の基本的なトレンドを不明確化する可能性のある特別な項目の影響を除いた業績を分析するため、投資家の皆様にとって非 GAAP 財務指標をご覧頂くことが有用であるものと考えております。

上記 GAAP 財務指標から非 GAAP 財務指標への調整は下記のとおりです。

|                                | 2009 年<br>第 1 四半期 | 2008 年<br>第 1 四半期 | 2009 年第 1 四半期と<br>2008 年第 1 四半期の<br>増減比較 (%) |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|--|
| <i>(単位: 百万ドル)</i>              |                   |                   |  |
| GAAP 基準のシティの費用                 | \$12,087          | \$15,775          | (23)%  |
| リポジショニング費用を除く                  | --                | (620)             |  |
| メキシコにおける組織再編に関連する費用効果を除く       | --                | 282               |  |
| ビザ関連訴訟引当金の一部戻入れを除く             | --                | 166               |  |
| オールド・レーン無形資産評価損を除く             | --                | (202)             |  |
| ファルコン・ファンド清算引当金を除く             | --                | (250)             |  |
| レデカード株式売却関連費用を除く               | (3)               | (2)               |  |
| 訴訟関連引当金戻入れを除く                  | 250               | --                |  |
| 非 GAAP 基準のシティの費用               | \$12,334          | \$15,149          | (19)%  |
| GAAP 基準のグローバル・カード部門収益          | \$5,765           | \$6,379           | (10)%  |
| 証券化業務による影響を除く                  | 2,452             | 1,610             |  |
| 非 GAAP 基準のグローバル・カード部門収益        | \$8,217           | \$7,989           | 3%   |
| GAAP 基準のラテンアメリカ・カード部門収益        | \$1,950           | \$1,776           | 10%  |
| レデカード株式売却益を除く                  | (1,119)           | (663)             |  |
| 非 GAAP 基準のラテンアメリカ・カード部門収益      | \$831             | \$1,113           | (25)%  |
| GAAP 基準のラテンアメリカ個人向け銀行業務部門純利益   | \$81              | \$271             | (70)%  |
| メキシコにおける組織再編に関連する費用効果を除く       | --                | (142)             |  |
| 非 GAAP 基準のラテンアメリカ個人向け銀行業務部門純利益 | \$81              | \$129             | (37)%  |
| GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門収益        | \$1,123           | \$1,558           | (28)%  |
| 日本の消費者金融事業の収益を除く               | (165)             | (277)             |  |
| 非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門収益      | \$958             | \$1,281           | (25)%  |

|                               |                |                |       |
|-------------------------------|----------------|----------------|-------|
| GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門与信費用     | \$540          | \$543          | (1)%  |
| 日本の消費者金融事業の与信費用を除く            | (264)          | (317)          |       |
| 非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門与信費用   | <u>\$276</u>   | <u>\$226</u>   | 22%   |
| GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失   | \$500          | \$444          | 13%   |
| 日本の消費者金融事業の正味貸倒損失を除く          | (316)          | (317)          |       |
| 非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門正味貸倒損失 | <u>\$184</u>   | <u>\$127</u>   | 45%   |
| GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門純利益      | \$116          | \$199          | (42)% |
| 日本の消費者金融事業の純利益を除く             | 36             | 86             |       |
| 非 GAAP 基準のアジア個人向け銀行業務部門純利益    | <u>\$152</u>   | <u>\$285</u>   | (47)% |
| GAAP 基準の証券及び銀行業務費用            | \$2,860        | \$4,671        | (39)% |
| オールド・レーン無形資産評価損を除く            | --             | (202)          |       |
| リポジショニング費用を除く                 | --             | (305)          |       |
| 訴訟関連引当金戻入れを除く                 | 250            | --             |       |
| 非 GAAP 基準の証券及び銀行業務費用          | <u>\$3,110</u> | <u>\$4,164</u> | (25)% |